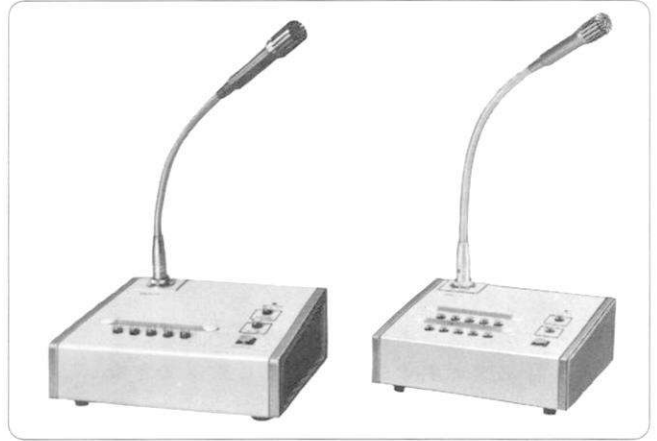


遠隔操作器

品番 WR-105,110

取扱説明書

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。



保証書別添付

上手に使って上手に節電

このたびは、遠隔操作器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

■ お使いになる前に

- 遠隔操作器WR-105、110は、各種音響装置本体と組合わせて使用するものですから、本器のみで放送することはできません。
- 本器のほかに、本体制御用のリレーボックス等が必要です。(くわしくは、工事説明書をごらんください)
- 本器の設置、取付、移動には工事を伴いますので、必ず販売店にお申しつけください。
- 次のような場合には、ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。
 - ・ 放送ボタンを押しても、本体電源表示灯が点灯しない。
 - ・ 放送ボタンを押しても放送できない。
 - ・ 緊急放送ボタンを押しても放送できない。
- 本器は卓上型のほかに、壁掛型としてもご使用いただけます。(くわしくは、工事説明書をごらんください)

■ 使用上のお願い

遠隔操作器と音響装置本体との放送の優先順位は次のようになっています。

1. 非常放送 (防災アンプ)
2. チャイム・緊急放送・遠隔放送
3. 一般放送

緊急放送は、音響装置本体の**緊急ボタン**を押したときの放送で、一般放送は、音響装置本体からの通常放送です。

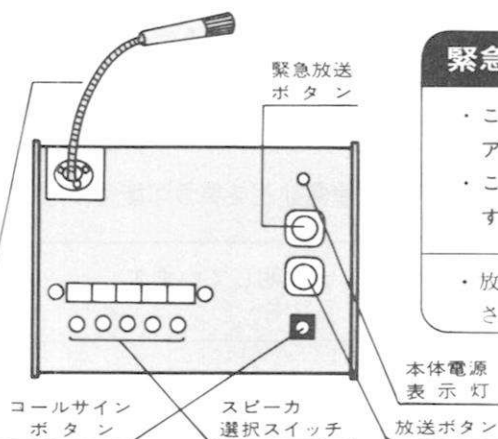
遠隔操作器と音響装置本体との関係

非常放送(防災)が動作すると、他のすべての放送は中断され、チャイム・緊急放送・遠隔放送が動作すると一般放送は中断されます。ただし、チャイム・緊急放送・遠隔放送が動作したとき及びバナアンプ、ハイパワーアンプのAUXに接続したときはミキシングになります。

■ 各部の名称と操作のしかた

ご使用前に「本体電源表示灯」が点灯しているときは、音響装置本体が使用中であることを示しています。本体が使用中であっても放送ボタンを押すと、遠隔操作器のリモートマイクが優先して放送されますが、本体の放送は中断されますのでご注意ください。

アナウンスマイクロホン



緊急・一斉放送のときに押します。

- ・ このボタンを押すと、全校(館)一斉にアナウンスが放送されます。
- ・ このボタンを押したときは、他の操作をする必要はありません。
- ・ 放送終了後はボタンを押しもどしてください。

4

- ・ 放送します。
- ・ このマイクロホンは、自動的に音量が調整されるので、音量調整は不要です。
- ・ マイクから20cm程度はなれて放送してください。
- ・ マイクロホンは、たたいたり吹いたりしないでください。

3

- ・ 放送の前後にこのコールサインボタンを押してください。

2

- ・ 放送する系統(あるいはチャンネル)の選択スイッチを押します。
- ・ 放送終了後は、スイッチを押しもどし、すべてのスイッチが■になっていることを確認してください。

1

- ・ 放送ボタンを押します。
- ・ 本体電源表示灯が点灯します。(この状態でスピーカー選択スイッチを押すと放送可能です)
- ・ 放送終了後は放送ボタンを押しもどし、本体電源表示灯が消えることを確認してください。

(外観は、WR-105ですが、操作方法は、WR-110も同じです)

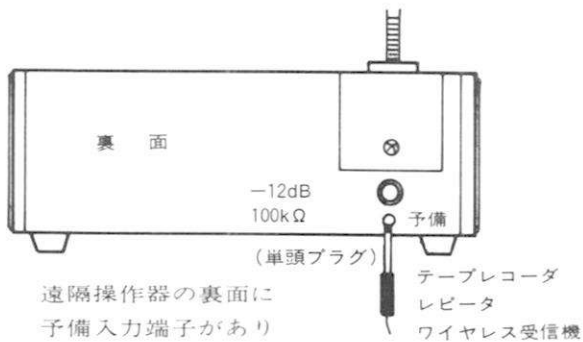
概要

- 遠隔操作は、スピーカ選択スイッチにより、5局(10局)の系統別放送ができるほか、緊急放送ボタンにより、5局(10局)一斉の放送も可能です。
- アナウンスマイクロホンにはエレクトレットコンデンサマイクを採用し、しかもマイク回路は新設計のAVC回路ですから、ひずみが少なく明瞭度の高い音が得られます。
- コールサイン制御スイッチ付ですから、新調整卓やリレーボックスWR-905との組合せでは、コールサインの機能を付加することができます。
- 本体電源表示灯が付いていますので、音響装置本体の使用の有無を確認することができます。
- 予備入力端子付ですから、マイクによる放送の外に、テープレコーダやレピータ、ワイヤレス受信機なども放送できます。
- 卓上、壁掛兼用型ですから、設置場所に応じた取付けが可能です。

定 格

項 目	WR-105	WR-110	
電 源	DC-24V	DC-24V	
消 費 電 流	25 m A	25 m A	
周波数特性	50~15,000Hz±6dB (1,000Hz基準)	50~15,000Hz±6dB (1,000Hz基準)	
歪 率	1%以下(1,000Hzにて)	1%以下(1,000Hzにて)	
S/N 比	50dB以上	50dB以上	
アナウンス マイク入力	-64dB 600Ω 不平衡AVC付	-64dB 600Ω 不平衡AVC付	
予 備 入 力	-12dB 100kΩ 不平衡AVC付	-12dB 100kΩ 不平衡AVC付	
出 力	0dB 60Ω平衡 負荷インピーダンス 600Ω以上	0dB 60Ω平衡 負荷インピーダンス 600Ω以上	
制 御 端 子	放送制御	×1	×1
	コールサイン	×1	×1
	緊急制御	×1	×1
	出力制御	×5	×10
寸 法	230mm(幅)×96mm(高さ) ×210mm(奥行)	230mm(幅)×96mm(高さ) ×210mm(奥行)	
質 量 (重 量)	約2.2kg	約2.2kg	
仕 上	パネル：マンセル 5Y7.0/1.0 近似色 側板：マンセル 5Y4.5/1.5 近似色	パネル：マンセル 5Y7.0/1.0 近似色 側板：マンセル 5Y4.5/1.5 近似色	

予備入力回路について



遠隔操作器の裏面に予備入力端子がありますから、テープレコーダ、レピータ、ワイヤレス受信機などが接続できます。これらの機器が動作状態になっており、放送スイッチ、スピーカ選択スイッチを押すとアナウンス放送同様に放送されます。

遠隔操作器には、予備入力用の音量調整器が付いていませんので、入力機器側で音量を調整してください。

付 属 品

- ・フレキシブルマイクロホン…………… 1
- ・単頭プラグ…………… 1
- ・取扱説明書…………… 1
- ・工事説明書…………… 1
- ・保証書…………… 1

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ！

■保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

■修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お 買 上 げ 年 月 日	年	月	日	品 番	WR-105、110
販 売 店 名				電 話 ()	—

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部
〒224 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)